

京都地域密着型サービス事業所協議会主催

平成30年度第3回「地域包括ケア全体研修会」

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は、本協議会の事業運営にご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

京都地域密着型サービス事業所協議会は、京都市内で小規模多機能型居宅介護事業などの地域密着型サービスを運営している事業所の管理者等を正会員とする一般社団法人で、現在134事業所に参加していただいております。サービス種別ごとの情報交換、研修、横断的な全体研修などに取り組み、市内全体の地域密着型サービスの質の向上を目指しております。

今後、地域包括ケアシステムを構築するなかで、地域包括支援センターと地域密着型サービス事業所が連携して認知症予防やサロン活動などの取り組みを行うことや、地域密着型事業所が地域包括支援センターのブランチ的な役割を果たすことなどが重要と考えております。こうしたことから今回は、地域包括支援センターと地域密着型サービス事業所の連携のあり方をテーマとし、実際に連携を深めて様々な活動を展開しておられる3つの実践を双方の立場から報告していただきます。

これらの実践報告をモデルとして、各地域での双方の連携による取り組みが広がることにより、今後の地域包括ケアの推進に資することを目的に開催いたしますので、多くのご参加をよろしくお願いいたします。

一般社団法人京都地域密着型サービス事業所協議会
会長 山田 尋志

日 時：平成31年3月29日（金）14時～16時30分

会 場：ひと・まち交流館京都第4・5会議室

（京都市下京区西木屋町通上の口上る梅湊町83-1：075-354-8711）

対 象：地域包括支援センター職員、地域密着型サービス事業所職員、
福祉・介護専門職、医療職など

参加費：無料

テーマ：「地域包括支援センターと地域密着型サービス事業所の連携にあり方について考える」

14:00 開会挨拶と基調報告「今回の研修テーマ設定の経過と目的について」

京都地域密着型サービス事業所協議会 会長 山田 尋志

14:20 実践報告「地域包括支援センターと地域密着型サービス事業所の連携の実践」

・コーディネーター 京都地域密着型サービス事業所協議会 副会長 源野 勝敏

（京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会 会長）

・実践報告

（1）桃山地域包括支援センター と 宝生苑（地域密着特養、小規模、GHI）

（2）西京・北部地域包括支援センター と 京都厚生園山田の家（認知症デイ）

（3）紫竹包括支援センター と 地域密着型総合ケアセンターきたおおじ

16:20 まとめと閉会挨拶 京都地域密着型サービス事業所協議会 副会長 三代 修

主 催：一般社団法人京都地域密着型サービス事業所協議会

協 力：京都市地域包括支援センター・在宅介護支援センター連絡協議会

後 援：京都市老人福祉施設協議会、京都府介護支援専門員会、京都社会福祉士会

（予定）京都府介護福祉士会

ご参加いただける方は、以下の参加申込書に所属などとお名前をご記入のうえ、
3月22日(金)までに事務局あてにFAXでお申し込みいただきますよう、よろしくお願いいたします。

FAX番号 075-354-8770

一般社団法人京都地域密着型サービス事業所協議会事務局 あて
平成30年度第3回地域包括ケア全体研修会参加申込書

所 属	お名前	地密協	包括協	市老協	社会福 祉士会	介護支援 専門員会	介護福祉 士会	一般

※ 該当欄に○を入れてください。

※ 地域密着協会会員の方は、正会員事業所名又は賛助会員法人名を所属欄にご記入ください。

ご記入者名 ()

ご連絡先電話番号 ()

お申込み・お問い合わせ先

一般社団法人京都地域密着型サービス事業所協議会事務局

TEL : 075-354-8706 FAX : 075-354-8770

e-mail : kyoto-tiiki-mittyaku@lime.ocn.ne.jp 担当 : 堀池・田端